

## 令和2年度 第1回下呂市有線テレビ放送番組審議会 議事録

開催日時：令和2年10月22日（木）午後7時30分～午後9時15分

場 所：シーシーエヌ下呂支局 2階会議室

（審議委員）審議委員10名中8名の出席

細江 和明 様 一般視聴者代表（審議会会長）  
桂川 豊 様 教育委員会代表（審議会副会長）  
中川 元宏 様 ご欠席 農業委員会代表  
今井美佐子 様 観光協会代表  
加藤 久人 様 商工会代表  
青木 順子 様 福祉関係者代表  
加藤ひとみ 様 一般視聴者代表  
松野 泰啓 様 一般視聴者代表  
細江 千咲 様 一般視聴者代表  
水野友紀乃 様 ご欠席 一般視聴者代表

（指定管理者・シーシーエヌ株式会社）

鈴木 邦夫 様 技術部長兼メディア推進部長  
田中 弘志 様 下呂支局長

（事務局・下呂市）

野村 穰 市長公室長  
大池 隆之 企画課長兼情報管理室長  
田立 雅宏 企画課情報管理室 主任主査兼係長  
長尾 飛鳥 企画課情報管理室 主査

用語：「企画課長兼情報管理室長」を「室長」、「シーシーエヌ株式会社」を「CCN」と表記

- 公室長あいさつ
- 指定管理者あいさつ
- 役員選任 会長、副会長
- 会長あいさつ

## ■議 事

### (1) 令和2年度「チャンネル下呂」放送及び自主制作番組（上期進捗・下期計画）

CCNより説明（資料P1～P7） 以下、協議内容

会長)	ただいまの件について説明がありました。何か質問や意見等がありますか。
委員①)	下呂温泉合掌村における用途不明金事件について番組で取り上げる予定はあるのか。
室長)	調査結果については市のホームページに掲載しているため、チャンネル下呂として取り上げる予定はない。現在、再発防止委員会を立ち上げており、必要な情報は今後ホームページ等で周知を行う。
委員②)	行政に対する市民からの質問コーナーや討論会は視聴者視点で考えると面白い。ドローンを活用して市内の景色を空から撮影してはどうか。市民でも知らない場所はたくさんある。
室長)	市は市民からの1つ1つの質問に対して、丁寧に対応する方針で進めているため、番組としてできることがないかを検討したい。ドローンは令和2年7月豪雨の災害復旧工事で活躍した。ドローンを番組で活用するために技術的な課題等を検証したい。
委員③)	番組の中で知り合いが多く出ていると観たいと思う。回覧板がなくても全世帯がチャンネル下呂を観れば行事等が把握できるように加入者を増やしてほしい。イベント内容が前年と同じというイメージがある。経費もかかるが週1回の更新を早めてはどうか。
事務局)	萩原地域や下呂地域の新規加入者が増えており、地域に根付いた番組作りが少しずつ市民に浸透していると考えている。今後も市民に身近な番組作りを目指したい。
委員④)	上期は新型コロナウイルスの影響で様々なイベントが中止になったが今後も変わらないと思うが、今後の予定を聞きたい。こども園等の再放送が多いのが残念である。コロナ禍であるが元気の出る番組作りを目指してほしい。中学校の部活動や益田清風高等学校の部活動で子ども達が頑張っている姿を観たい。また、地元の職場紹介や活気があるところを伝えてほしい。
CCN)	コロナ禍の中での番組作りは重要であると認識している。番組審議会で出た意見に優先順位を付けて取り組んでいるが、実施できていない内容もあった。その中で、手話を学ぶ企画や子どもたちに地元の民謡を紙芝居で観てもらおうという、自宅で過ごす時間を意識したコーナーをスタートさせた。また、番組については色んな

	<p>視点で意見を伺いたい。</p> <p>週刊まめなかなは朝 7 時から夜 11 時までの 1 日 9 回の奇数時間に放送しているが、番組がスタートしたときは 6 回だった。当時の審議会では、視聴習慣をつけるにはわかりやすい放送時間が良いとの意見があったため、現状の放送回数となっている。再放送の在り方については今後も意見をいただきたい。</p> <p>部活動については、これまで小学校のリレー訪問やまめちゅう等でやってきた内容から独立させて考えていくべきものとして検討したい。職場の紹介は、これまでに Lady Go 等の企画で個人にスポットを当てた企画をやっているため、職場にスポットを当てた企画は以前からも意見をいただいているため検討したい。</p>
委員⑤)	<p>同じ内容が多いというイメージが強い。子どもが小さいときは観ていたが、子どもが大きくなると出演する回数も減るため、身内や知り合いが出る場合でないと観る機会がない。また、今は地上波放送ではなく YouTube 等を自分で選んで観る時代だと思うので、興味が沸く番組であってほしい。</p>
会長)	<p>下呂ネットサービスの加入者が増えている現状の中で、今の意見では観ていないというアンバランスな状況である。これは審議会がもっと協議をして良いものが作れるという要素があったように思える。今後は下呂市と CCN で協議して、行政に深く突っ込んだ内容、そして地域に合った内容が必要である。また、学習サポートについても現状を把握する必要がある。</p>
委員⑥)	<p>紙芝居に出演させていただき、観ている人を楽しませようと出演者と肩を組んでアドリブをしたが、コロナの関係により非接触でお願いしたいとスタッフに言われてとても残念だった。今までやってきたことは大事だと思いますが、番組自体がもっと攻めてもいいと思う。</p> <p>「こんにちは市役所です」は、セリフが棒読みなのがとても気になる。解決するにはレポーターが必要であるため検討してほしい。食レポや街歩きには市民レポーターがいると面白い。</p> <p>また、ご長寿クイズや子どもが出演するクイズ企画を検討してほしい。市が事業者ということで守らなければいけない部分も当然あるかと思いますが、みんなが元気になるためには笑いが必要なので、そこを目指していくのことも大切だと思う。</p>
CCN)	<p>市役所コーナーについては、これまでもご意見をいただいております、改善しなければならぬと認識しているため工夫をして対応します。</p>
委員⑦)	<p>先日の市長との懇談会で週刊まめなかなについて、「もっと市民の声を聞いて、情報発信を強化してほしい。子どもたちのディスカッションを取り上げると良い」という</p>

<p>CCN)</p> <p>委員⑦)</p> <p>会長)</p>	<p>意見があった。こども園の紹介は同じ内容で放送されている。発表会はコロナ禍の影響により、人数制限がされるので番組として取り上げることは可能なのか。また、たけはらこども園では全園児が手話を使って歌っている。そういった取り組みも大切なので、1コマでの紹介ではなく、もう少し長く紹介してほしい。</p> <p>下呂特別支援学校の太鼓演奏は本当に感動する。学校との調整が必要だが、福祉の活動として週刊まめなかなで取り上げてほしい。そして、子どもたちが作っている陶器の作品等を紹介することで市民が接する機会になるのではないかな。</p> <p>地元でやっているテニスサークル等の活動や、救命救急の流れ、応急処置についても番組で取り上げてほしい。</p> <p>週刊まめなかなは限られた時間の中で、ある程度話題を伝えるには3分の放送時間という目安があります。内容的には特別番組として扱うこととなりますが、かなりの時間を要して計画しなければならない。今回、コロナ禍の中でピアノコンサートを特別番組として放送する予定だが、出演者の保護者からは、「本当に楽しみにしている。」との意見をいただいている。こども園の発表会は、やりたいという気持ちがあるが、スタッフの人数的に難しいのが現状である。</p> <p>救急に関しては定期的に市役所コーナーで取り上げているが、今年の消防は別の内容であった。コーナー化するのも1つの選択肢として検討したい。</p> <p>正午や夕方6時の時間帯に家族や職場で観れるような番組があったらいいなと思う。ぎふわかをよく観ているが、ぎふわかのような番組を作ってほしい。</p> <p>お店の紹介はできないということでしたが、市内で頑張ってみるお店がたくさんあるため、何らかの形での放送を検討してほしい。</p> <p>同報無線で見守りの呼びかけをしているが、実際に観たことがないので、ぜひ番組として取り上げてほしい。令和2年7月豪雨の災害写真展は、もっと周知をするべきだった。お盆に放送した、「下呂温泉ゲロゲロカエルめぐり」の特別番組はタイミングが非常に良かった。</p> <p>皆さまからのご意見を伺いましたが、今後もより良い番組作りのためにご協力をよろしく願います。</p>
------------------------------------	---

(2) 令和2年度下期 その他の計画

CCNより説明 以下、協議内容

	(質疑なし)
--	--------